

九州運輸局メールマガジン  
平成22年2月18日 第70号(発行日:毎週木曜日)  
~九州の明日を拓く運輸と観光~  
九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご覧ください。

#### 目次

- 1.九州運輸局ホームページアップ情報(2月10日~2月17日掲載分)  
プレス発表  
入札・契約情報  
お知らせ  
バス・タクシー・トラック  
職員採用情報
- 2.現場レポート  
危険を体感し、事故防止!  
~平成21年度中小造船業・船用工業 造船安全講習会~
- 3.九州運輸局セミナー  
旅航(りょこう)しましょうよ!!
- 4.リレーコラム【鹿児島運輸支局長 土井 和久】
- 5.編集長だより

#### 【九州運輸局ホームページアップ情報】(2月10日~2月17日掲載分)

##### プレス発表

###### 《総合》

- ・九州運輸局大分運輸支局(海原庁舎)移転のお知らせ(2月10日発表)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100215.pdf>

###### 《観光》

- ・阿蘇における外国語表示について、外国人モニターによる点検調査を実施します!!  
(2月10日発表)

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100210.pdf>

##### 入札・契約情報

- ・企画競争実施予定情報

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou\\_100215.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_100215.pdf)

- ・企画競争実施公示

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU\\_KOUJI](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI)

- ・物品役務入札公示

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN\\_CHOTATSU](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU)

- ・企画競争結果の公表

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku\\_kekka/100201.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/100201.pdf)

##### お知らせ

- ・佐賀運輸支局長は、自家用自動車の使用停止処分を命じました。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001\\_021/file21\\_220216.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_021/file21_220216.pdf)

##### バス・タクシー・トラック

- ・バスの申請・処分状況

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji\\_bu\\_ka/bus/s\\_2201.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/bus/s_2201.pdf)

- ・タクシーの申請・処分状況

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji\\_bu\\_ka/taxi/s\\_2201.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/s_2201.pdf)

・トラックの申請・処分状況

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji\\_bu\\_ka/truck/s\\_2201.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/truck/s_2201.pdf)

・倉庫業の新規登録状況

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji\\_bu\\_ka/souko/2201.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/souko/2201.pdf)

職員採用情報

国土交通省機械・電気職職員選考（国家公務員採用 種試験相当）

<http://www.mlit.go.jp/saiyojoho/kikaidenki02g.html>

## 【現場レポート】

危険を体感し、事故防止！

～平成21年度中小造船業・船用工業 造船安全講習会～

去る2月5日、九州運輸局主催により「造船安全講習会」をユニバーサル造船（株）有明事業所の協力のもと同社安全研修センターにおいて開催しました。参加者は管内の中小造船業者、船用工業事業者の安全管理者を中心に53名にものぼりました。

この講習会は、造船所の事故災害が全国的にも増加、九州管内においても死亡事故を含む重大災害が多発していることを受け、開催したものです。

講習会に先立ち、有明事業所の工場見学をしましたが、構内はすみずみまで整理整頓が徹底しており、無事故が続いているという説明に納得するところです。

午後からは、同造船所で永く安全担当を務められ、現在は(社)日本造船工業会の安全委員も務められている「塚 和雄氏」を講師に迎え、造船現場での事故発生状況と安全管理体制の取り組みについて実際の事例を交えながら、事故を無くすには、「会社トップが毎日現場へ出ていくこと」、「社内の安全に対する風土作りが重要であること」、「現場作業においては、事故のリスクを減らすために高所作業を行わない工夫をしていること」等の経験に裏打ちされた講義に対し、受講者は熱心に聞き入っていました。

続く体感研修では、造船所の作業現場に近い環境が再現されており、どのような危険が及ぶのかを実際に体感して、事故の怖さを認識し、正しい作業方法や対処の仕方を学べるようになっていました。例えば、実際に5mの高さから、60kgのおもりが落ちた時の衝撃を間近で体感したり、安全帯で実際に宙吊りになったりするなど身をもって体感して頂きました。

研修を終えた参加者のアンケートによると、「日常作業にひそむ危険を再確認できた」、「通常作業のなかでの安全確認の重要性を改めて認識した」などの意見に加え、「安全体感教育のうち社内できそうなものを教育に取り入れてみたい」との積極的な感想もありました。

九州運輸局としては、造船業が安全・安心な産業として魅力ある職場となるよう今後も業界をはじめ、関係団体と連携しながら事故防止に向けた取り組みを行っていきたく考えています。

最後に、この研修の成果をそれぞれの社内に持ち帰られ、事故防止に向けた取り組みに有効に活用されることをお願いして、本講習会を終了しました。

（海事振興部船舶産業課）

## 【九州運輸局セミナー】

旅航(りょこう)しましょうよ！！

みなさん・「旅客船」を利用されていますか。

海事振興部旅客課では、旅客事業や離島航路の維持整備に関する業務を担当しています。旅客船というとクルーズ船による優雅な船旅を連想される方もおられると思いますが、離島が多い九州には、全国の1/4にあたる150余りの旅客船の定期航路があり、鉄道やバスと同じように重要な公共交通機関となっています。

こうした身近な定期航路においても船旅は十分楽しめますし、また、一言に旅客船といっても種々なタイプがありますので、今回は、九州に就航している特徴ある旅客船の一部を船旅の感想と併せて少し紹介したいと思います。

(大型カーフェリー)

旅客と車両を一緒に輸送する船をカーフェリーと呼んでいます。特に、九州～関西・京浜間などの運航距離300km以上の長距離フェリーには1万トン超クラスの大型カーフェリーが就航しています。船内は、広くて豪華なロビーや客室、レストラン等を備えており、とっても快適な船旅が楽しめます。特におすすめは、関西への航路で瀬戸内海を通るということで、揺れもほとんどなく、夜の来島海峡、備讃瀬戸などは行き交う船や操業している漁船が多く、その中を縫って走るスリル感(でも安全です)や海上からの街の夜景など、非常に素晴らしいものがあります。また、近頃は値段も格安で、家族やペットと一緒に格安のクルーズが楽しめます。

(双胴型高速カーフェリー)

速力22ノット(時速40km)以上の旅客船を高速船と呼んでいます。その中で、双胴型の高速カーフェリーを紹介します。波に強く、揺れを抑制する装置(スタビライザー)を備えているので、荒天でも安定した航海が楽しめます。特に熊本などから島原半島への航路などは格安の上、長距離ドライブの休憩場所として利用をおすすめします。短い時間ですけど、カモメとの船旅は感動ものです。

(双頭型カーフェリー)

近距離航路に就航しているカーフェリーで、船首と船尾の区別がなくどちらにもプロペラがついており、旋回(方向転換)することなく往復運航をしています。九州では、全国トップクラスの輸送実績を誇る鹿児島～桜島航路などに就航していますので、雄大な桜島をバックに15分間の船旅を楽しませては如何でしょうか。

(ジェットfoil)

正式には全没翼型水中翼船といいますが、海上を43ノット(時速80km)で疾走する超高速船で船体が海面から浮かび上がって揺れないので、波の荒い時でも快適な船旅ができます。

このタイプの船は、韓国釜山への外航航路や対馬、五島、種子島、屋久島などへの離島航路で活躍しており、急ぎの出張や船に弱い人におすすめで、飛行機のように飛行機でもないといった不思議な体感も味わうことができます。

断然、飛行機よりは格安です。

このほか、九州管内には、離島航路や陸上のパイパス航路に多くの旅客船が運航されており、島民の通勤・通学など生活に不可欠な交通手段となっていますが、海水浴や釣り、島内散策にも利用されており、比較的都会に近い島でも美しい海やおいしい料理を堪能できます。また、遊覧船や観光船として、珊瑚礁が間近に見られるグラスボートや、しゃれた船内での食事が楽しめるレストラン船などがいっぱいですので、ご家族とのリラックスタイムとして是非ご利用下さい。

旅客船の航路や運航状況等については、当課までお問い合わせ下さい。

( 海事振興部旅客課 )

### 【リレーコラム】

初めての鹿児島運輸支局勤務も早いもので、もうじき1年が過ぎようとしている。人生の黄昏にさしかかると月日が経つのを早く感じる。( 光陰矢のごとしとはよく言ったものだ。 )

着任当時は色んな所で鹿児島の印象を聞かれた。いつも答えに窮する。元来観察力には自信がなく、感受性にも乏しいものだから、街並みや行き交う人々になかなか鹿児島を見つけられない。それでもしばらく経つと桜島、特に噴火している雄姿にそれを感じるようになった。着任早々の4月9日に発生した爆発的噴火の洗礼から始まりほぼ毎日噴火がある。多い日には一日に数回の噴火がある。因みに今年の爆発回数は548回で1955年の観測開始以来最多とのこと。

この桜島、支局本庁舎から正面に見える。雲一つない真っ青な空に向かって蒸気機関車よろしく黒煙を吐き出しているその光景は、「鹿児島」いや「薩摩」の底力を感じ、この桜島こそが、薩摩隼人をして明治維新を成し遂げさせたその根源ではないかと思われる。

初めて鹿児島を訪れた人は、煙をもくもくと力強く吹き上げる桜島に遭遇するとほとんどの方が感激し、喜んで頂ける。そのような来訪者の心を知っているのか、おもてなしの心を十分心得ているのか、近頃よく爆発する。そして、灰もよく降らず。観光ガイドによると、ナポリ湾に望むベスビオ火山を有するナポリ市と錦江湾に浮かぶ桜島を有する鹿児島市とは、風景が似通っており、鹿児島市は「東洋のナポリ」とも呼ばれていたことなどから、昭和35年5月3日姉妹都市が盟約されたとのこと。

鹿児島市内には美しい並木とツツジの咲く「ナポリ通り」があるが、桜島はそこから眺めるより、ウォーターフロントエリアのドルフィンポートから直に仰ぎ見ることをお勧めする。少々の降灰もスパイス程度にしか感じられず、その景観のすばらしさと活きている桜島を実感できるものと確信している。

来年春には九州新幹線も全線開通します。桜島もおもてなしの心で歓迎します。ぜひ鹿児島にお越しください。

( 鹿児島運輸支局長 土井 和久 )

### 【編集長だより】

九州には古い街道があります。薩摩街道、日向街道、豊後街道など江戸時代の参勤交代に使われた街道です。その中でも人、物の行き来が最も多かった道が長崎街道です。

この街道は長崎・小倉間を25か所の宿場で結んだ約228kmの道ですが、別名「シュガーロード」と呼ばれました。道の起点である長崎は、江戸時代以前より西洋(南蛮)の文化や物が日本で最初に入ってきたところです。当時の日本では砂糖は大変な貴重品で、一般庶民には手に入りにくいものでした。そんな砂糖が南蛮舟により長崎に水揚げされ、長崎街道を通過して大阪、京都、さらには江戸まで運ばれました。その道筋にあたる長崎街道沿線道の町々を中心に大きな南蛮菓子文化圏が生まれ、現在でも長崎、佐賀、飯塚、直方などの地域では江戸時代から続く老舗が数多く残っています。南蛮菓子と呼ばれるものにはカステラ、ポーロ、金平糖など、皆さんが知っているものがたくさんあります。

また、その他にもこの街道をいろいろなものが通りました。歴史上の人物では坂本龍馬、西郷隆盛、吉田松陰、シーボルト等々……。さらには、象、虎、らくだといった当時では誰も見たことのない珍獣が民衆の前をねりあるきました。

そんな歴史を持つ長崎街道の起点である長崎市では唐人文化や南蛮文化といった異国情緒あふれる祭り「長崎ランタンフェスティバル」が開催されています。この祭りが終わると春の訪れを身近に感じます。

皆様のお知りになりたい情報・ご意見・ご要望等をお聞かせください。  
編集部ではできる限りご要望にお応えしたいと思います。  
下記のメール又はファックスからお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集長（九州運輸局総務部広報対策官）

森 益隆（もり ますたか）

mail : [mm-kyushu@qst.mlit.go.jp](mailto:mm-kyushu@qst.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

バックナンバーは、次の URL に掲載しています。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/top.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html)